

全国ご当地エネルギーによる参加型温暖化対策の仕組みづくり・協働・実装

活動地域  東京、日本全域

つづける助成
3年目
知識の提供・普及啓発

| | |
|-----------------|------------|
| ご当地電力証明書の発行数 | 2件 |
| 営農型発電検討団体との意見交換 | 5件 |
| 今年度計画の達成度 | 60% |
| 目標達成度 | 70% |



第2回世界ご当地エネルギー会議 (マリ)

苦勞した点と工夫した点

■ 苦勞した点

「ご当地エネルギー・インターンプログラム」を実施するにあたり、インターンの希望と受け入れ先のニーズのマッチングに苦心した。

■ 工夫した点

インターンへ事前に取り組み内容の希望を調査し、受け入れ団体に対しては丁寧にコミュニケーションを取ることで、双方にとって意義のある研修になるよう工夫した。

課題

系統制約やFIT価格の低下など事業環境が厳しくなる中で新たなスキームでの事業化を模索し、挑戦を続けるご当地エネルギー事業の支援と協働。

目標

- ①電力分野、温熱分野におけるご当地エネルギーの普及拡大のための仕組みづくり
- ②国内外ご当地エネルギーの相互協働ネットワークの育成・拡大

活動内容と成果

ソーラーシェアリング事業を全国で展開していくために、熊本・福島等で説明会を開催したほか、地域循環共生圏を広げていくことを目的とするセミナーを宝塚で開催し、実際に宝塚市西谷地区のソーラーシェアリングの取組みを視察した。また、ご当地エネルギーを担う若手の育成のため、「ご当地エネルギー・インターンプログラム」を実施し、ご当地エネルギーへのより深い理解と参加を促すとともに、派遣地域や団体との協力体制を深めた。アフリカでの地域エネルギー開発支援においては、マリでのソーラーシェアリング事業を支援中である。



ご当地エネルギー・インターン 静岡にて



宝塚市西谷地区のソーラーシェアリング視察

全助成期間の活動を振り返って

全国各地のご当地エネルギー拡大に向け、自己資金不要の事業モデルを創出し、当協会自ら水俣市にリース事業で太陽光を設置、他地域に横展開した。全国7地域でソーラーシェアリング事業の立ち上げを支援したほか、2018年には「第2回世界ご当地エネルギー会議」(マリ・バマコ)を共催し、アフリカ未電化地域でのソーラーシェアリングのパイロット事業にも取り組み、国内外のネットワークも深めることができた。

〒160-0008
東京都新宿区四谷三栄町16-16
電話：03-3355-2212
E-mail：<https://communitypower.jp/contact> (お問い合わせフォーム)
HP：<http://communitypower.jp>



今後の展望

ご当地エネルギー地産地消のための仕組みづくりとして、次年度はソーラーシェアリング事業や太陽光・蓄電池の第3者所有モデル、地域バイオマス熱利用などを組み合わせ、FIT後における地産地消型のご当地新電力の立ち上げを検討する。引き続き国内外のネットワーク拡大を行うとともに、担い手候補を育成する「ご当地エネルギー・インターンプログラム」を実施し、ご当地エネルギーを次世代へつなぎ、発展させてゆく。